

「今」を大切にすること

九月の創立記念式典の前に、校長室にある本校の記念誌などを開きました。たくさんモノクロ写真の中にいる先生方や生徒の皆さんの、真摯に勉学に取り組む姿や明るい笑顔を見ることができ、生きる時代は違っても高校時代の「今」を一生懸命過ごしていることが伝わってきました。私も昔むかしを振り返れば高校生でした。勢いあまって高校の卒業アルバムを久しぶりに開きました。そして夢中で過ごした高校時代の時の自分にエールを送りたいと思いました。



校長 吉田直史

「今」の先には「未来」があります。皆さんが「今」を積み重ね、興譲館という学びのフィールドで培ったものを未来の社会で惜しみなく発揮し、大切な存在として活躍することを楽しみにしています。



壮行式



オーチス国内・国際大会に向けて活動しているCSSクラブとESSメンバー



1年探究科「SDGsワークショップ」



オーチス国内・国際大会に向けてのオンラインミーティング

米沢興譲館高校に入学してから早三か月。この学校には、想像した以上に忙しい、そして楽しい毎日が流れていました。個性あふれるクラスメイトとは、もちろんそれぞれが目指す場所も違います。それでも皆で一緒に知識を追いかけ、行事に本気になって取り組み、昼休みには他愛もないことを語り合う日々を過ごす中で、多種多様な人と関わり合うことで、多くの刺激を受けています。高校に入ってから、しなければならぬ量の忙殺されそうなきっかけが身近にある興譲館での三年間を無駄にすることなく、全力で駆け抜けていきたいです。

忙しさに追われ、夢を追いかける日々
一年二組 小林恒平 (高島中出身)

Yonezawa Kojokan High School

令和6年10月30日発行
第59号
山形県立 米沢興譲館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/index.php>



1年探究科「子ども向け科学実験講師養成講座」



デザイン思考ワーク

2年 探究科 夏の研修

国際探究科研修～英語による模擬国連演習～

私達国際探究科は八月に二泊三日で天元台での研修に行ってきました。国際理解を深めることを目的に模擬国連等の研修を行いました。天元台では自然豊かな環境の中でALTの方々と平和や文化などについて活動を行いました。三日間の研修中は会話のほとんどを英語で行わなければならず、その成果として英語を聴く力、話す力ともに大きく向上させることができました。また、夕食の後にはALTの方に簡単な踊りを教えていただき、多様な文化を理解することともに、楽しい思い出を作ることができました。三日間という短い



期間でしたが、様々な面で大きな成長を感じることができた研修でした。

理数探究科関西サイエンス研修

私たち理数探究科は八月の頭に関西へ研修に行ってきました。二泊三日の研修では、大型放射施設（Spring8）やスパコン「富岳」など科学の発展を支える巨大装置の見学、SSH生徒研究発表会への参加など、地元ではできない貴重な経験を多くさせていただきました。その中でも、SSH生徒研究発表会は私たちに大きな学びをくれたと思います。日本の高校生トップクラスの発表には手本にすべきところが沢山ありました。私たちも十月・二月に研究発表を行うので、今回の研修で色々な得た気づきを研究やポスター発表



に反映させ、研究発表をよりレベルの高いものにしていきたいです。

探究活動成果発表会

科学研究型 最優秀賞

私達サポニウス班は令和六年度SSH生徒研究発表会に参加し、全国のSSHの生徒たちと交流してきました。近年再生可能エネルギーに関心が高まり、風力発電ではプロペラ型風車がよく使われている。しかし、その風車は逆に森林を破壊してしまう恐れがあるのだ。だからこそ私達は、従来の風車に比べて、環境への負荷が少ないサポニウス型風車に着目して研究してきた。利益よりも優先すべきものを決して見失ってはいけない。今回の研究発表会で分野の垣根を超え交流を重ね、探究することによって本来の目的を見失わないことの



令和6年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に出場した時の様子

プロジェクト型 最優秀賞

最優秀賞をいただいたことを嬉しく思います。私たちはイベントを開催し、活動を国内外で放送していただいたことを通し多くの人に雪菜の魅力を伝えてきました。班内では意見交換が活発で何回言い合いをしたのか分からないくらいですが、次の日には対立した事を忘れる仲間達だったので色々な角度や視点から意見を出し合いより良いものになりました。高校生だからできないというような偏見や諦めは捨てて、一般的な考えの枠組みから外れることが大事だと探究活動を通して学びました。支えて下さった方々、そして雪菜メ



ンパーには感謝しきれません。皆さんもぜひ雪菜を食べてみてください。

興譲館生 活躍の記録

令和6年度全国高等学校総合体育大会北部九州大会(インターハイ)、全国高等学校総合文化祭岐阜大会

陸上競技部 高校陸上で得たもの

三年二組 渡部 向日葵 (高畠中出身)

高校最後のインターハイでは自分の納得のいく結果を出せず、悔しさが尾を引くものとなりました。今思い返すと、練習したものが上手く出せないことや記録が伸びなかったことの苦しさばかりが込み上げてきます。しかし、インターハイに限らず、高校陸上で得られたものは計り知れません。自分の現状を痛感すると共に他選手の凄さが陸上だけでなく様々な面で刺激となりました。

また、今まで指導してくださったコーチの方々、様々な場面で支えてくださった先生方、そして陸上部のみんなと家族には感謝があります。

高校陸上は終わりになりました。部活動で得たものを無駄にせずこれからも頑張っていきたいです。



コーサーパーサイエンスクラブ 研究の奥深さにふれて

三年二組 横山 夢人 (高畠中出身)

私は八月に岐阜県で開催された全国高等学校総合文化祭自然科学部門のポスター発表の部に出場しました。初めてのポスター二枚を用いた発表でしたので、非常に構成や時間配分が難しかったです。何度も試行錯誤を重ねることで自分なりの研究発表を作り上げることができました。質疑応答では、自身の研究の意義や情熱を伝えること、質問者の意図を汲み取ることを心がけました。そして、これまで気づけなかった新たな問いの発見や、より伝わりやすくなるデータ処理方法をこの機会に学ぶことが出来ました。

また、CSSクラブやSSRでの活動の意義や面白さ、そして、探究活動することの奥深さを改めて実感することのできた高給文祭になりました。



文芸部 ぎぶ総文を通して、さらなる高みへ

三年四組 鈴木 香奈 (高畠中出身)

私はこの夏、全国高等学校総合文化祭ぎぶ大会に出場させていただきました。昨年、ぎぶ総文への出場が決まったときからずっと待ち焦がれていた一大イベントで、とても充実した四日間でした。中でも、私達高校生約四十人分の小説を、現役小説家として活躍されている先生方へ一つ一つ丁寧に評価いただいた散文部門分科会が印象に残っています。分科会で触れた他の高校生の小説の書き方やストーリーの展開の仕方、そして先生方から得た貴重な評価やアドバイスは、決して忘れることのない私の大切な宝物となりました。これからの創作活動に、是非とも活かしていきたいと思っています。



フェンシング部 後悔ない試合に！

三年一組 山本 水仁子 (宮内中出身)

私は、七月二十三日～二十七日に行われたインターハイにエペ女子個人、女子団体の二種目に出場してきました。泣いても笑っても最後の大会となるので、これまでの練習の成果を出しきって、後悔だけはしない試合にしようとして挑みました。

試合本番では、もちろん緊張はしたものの、自分の中でやりきった、今までやってきた三年生全員で大会に連れて最高の思い出となりました。

このような素晴らしい経験ができたのも、先生、コーチ、先輩、家族などたくさんの方が支えてくださったおかげです。本当に今までありがとうございました。



美術部 成長

三年五組 横澤 実莉 (米沢一中出身)

私は、七月三十一日から八月二日に岐阜県で行われた、全国高校総合文化祭美術・工芸部門に出場してきました。全国から集まった作品は、どれも丁寧作り込まれていて今まではレベルが違っていたことを実感しました。全国の作品を直接見ることでできたことは、私にとって貴重な経験となりました。交流会では他県の生徒の皆さんと、作品や普段の活動などについて楽しく話すことができ、自分の視野を広げられたと思います。今回の総文祭を通して得た経験を忘れずに、自身の成長に繋げていきたいです。



全国のレベル

二年一組 安部 舜舵 (米沢五中出身)

八月下旬にCSSクラブの仲間二人とともに「WRO2024 Japan 決勝大会in富山」に参加しました。県大会一位のシード校としての参加でしたが、結果は満足できるものではありませんでした。会場では、互いに顔なじみの小・中学生の頃からロボコンに取り組んできたチームが数多く見受けられ、経験の差を実感しました。私たちも夏休み前から可能な限り取り組んできましたが、彼らのレベルにはまだまだ及ばず、基礎からの違いを痛感しました。悔しさはありますが、だからこそ得た経験や気づきを次の世代に伝えることが、私の役目だと考えています。後輩たちが今後の活動で困ることがないように、私たちができる限りのサポートをしていきたいです。



合唱コンクール 3年5組最優秀賞!

今年の夏の暑さにも勝る熱血指導の指揮者のもと、歌詞の意味を三年五組らしく表現することを目標に練習してきました。夏休み中、全員揃っての練習はできず、個人練習やパート練習を重ね合唱コンクールに向けて日々努力してきました。練習では曲の山場に合わせて強弱をつけたり歌詞によって雰囲気を変化させるなど、表現の面に特に苦勞しました。最優秀賞を



合唱コンクール最優秀賞をとって

三年五組 井上優 亜(米沢三中出身)

とることができたのは、曲を歌いあげるだけでなく表現に力を入れたからだと思っています。合唱コンクールで培ったクラスみんなの絆を信じて、これからの受験に取り組んでいきたいです。

体育祭

暑く、熱い二日間

三年一組 小形武美(白鷹中出身)

まずは、体育祭を無事に成功という形で終えることができ大変嬉しく思います。体育文化委員一同、放課後などの時間を使い準備に取り組みました。当日は暑さにより開催が心配されましたが、予定通り体育祭を開催できて安心しました。



体育祭を計画どおり進めることができたのは先生方をはじめ、当日共に運営に携わってくださったサッカー部やバレー部の皆さんに加え、自治会執行部の皆さんのおかげです。また、開祭式にて選手宣誓の大役を務めてくれた伊藤友暉さんには敬意を表します。最後に、今回の体育祭に全力で取り組んでくれた全校生徒に感謝しています。

興議祭 theme/Coruscate!

制約の中でも

三年二組 今 龍汰朗(小国中出身)

八月の夏休み明け直後に、興議館生が一年に一度総力を挙げて作り上げる祭典「興議祭」が開催されました。今年度は熱中症対策に追われ、中庭で行っていた各企画を校舎内に変更するなど、大きな制限を受けながらの興議祭となりました。しかし、そんな中でも知恵を絞って自分たちはもちろん、来場者の方々の思い出に残るような祭典にしようと、全興議館生が一丸となって知恵を絞り最高の二日間を作り上げることができました。来場した方もその熱気を十分に感じられたのではないのでしょうか?無事に今年度の興議祭を大成功で終えることができ、実行委員長として安堵と喜びでいっぱいです。後輩たちが作る来年度の興議祭もご期待ください!

